

平成 27 年 3 月 23 日

IOSCO アジア太平洋地域メンバーはより強固な地域間協力を支持

証券監督者国際機構（IOSCO）アジア太平洋地域委員会（APRC）は、今月、当該地域の証券監督当局間の協力を促進し、キャパシティー・ビルディング活動を強化させるための取り組みを実施した。

2015 年 3 月 11 日に東京で開催された会合において、APRC は、地域発展に有意義な貢献を行うための戦略的枠組みを定める APRC ロードマップについて合意した。このロードマップには、以下を含む、APRC の 29 メンバー当局間の更なる協力を実施する主要な項目について記載されている。

- ・ 地域での国境を越えた規制当局間協力の強化及びメンバー当局への訓練・支援の実施
- ・ その他の地域的な規制機関、政府機関、金融安定理事会（FSB）と緊密に協力・調整を行いつつ、アジア太平洋地域の資本市場を活性化させる中小企業の役割の認識
- ・ 欧州・米国における金融規制改革の取り組みの、アジア太平洋地域への国境を越えた影響に対する協調対応

APRC 議長であるアシュリー・オルダー（香港証券先物委員会 CEO）は次のように述べている。「APRC は、アジア太平洋地域の規制当局間の緊密な協力・調整を更に強化・発展させるための、優れた仕組みである。アジア経済の多様性を認識するとともに基準の地域内での更なる収斂を促進させるために、我々は、アジア市場の安定した発展に関する主要な問題に対して、力強いアジアの声をあげていくために引き続き共同して取り組んで行く。」

「また、我々は ASEAN、FSB アジア地域諮問グループ、アジア開発銀行、資本市場企業買収フォーラム等のその他の地域組織と、共通関心事項に関する関係・協力を強化する予定つもりである。」

APRC の 29 メンバー当局には、アジア太平洋地域の全ての主要市場の規制当局が含まれている。